

# 家畜市場 価格の推移 (4月)

## ▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重	
スモール	雌	7	7	100.0%	348,840	64,800	149,349	53
	雄	144	143	99.3%	167,400	2,160	112,132	58
計	151	150	99.3%	348,840	2,160	113,858	58	
F1	雌	206	197	95.6%	321,840	91,800	259,405	62
	雄	211	201	95.3%	374,760	56,160	300,297	66
計	417	398	95.4%	374,760	56,160	280,096	64	
ホルス(5才) 雌	26	23	88.4%	412,560	84,240	257,164	775	

## ▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	6日	460	398	86.5%	1,388,880	122,040	974,019
南北海道	7日	142	125	88.0%	1,316,520	505,440	854,133
豊富	13日	296	221	74.7%	1,296,000	611,280	901,468
根室	17日	424	367	86.6%	1,305,720	434,160	932,517
釧路	18日	250	203	81.2%	1,217,160	540,000	929,279
北見	19日	323	271	83.9%	1,132,920	662,040	916,860
十勝	20日	547	444	81.2%	1,489,320	228,960	972,890
合計		2,442	2,029	83.1%	1,489,320	122,040	925,881

## 業務報告 (4月分)

- 1日 中国地区B&Wシヨウ(二日迄)
- 2日 三次さくら祭り
- 3日 甲奴郡酪農組合女性部総会
- 4日 「牛乳の日・牛乳月間」新戦略推進会議
- 5日 広酪西部ミルク会総会
- 6日 中国生乳販連生乳受託販売委員会
- 8日 中国生乳販連・理事会・監事会・臨時総会
- 8日 自民党広島県支部連合会大会
- 10日 乳業七社会春期研修
- 10日 甲奴郡酪農組合役員会
- 11日 若齢預託施設視察研修(十二日迄)
- 12日 庄原地域酪農振興会役員会
- 13日 広島県酪農収益強化対策協議会幹事会
- 13日 Jミルクブロック会議
- 14日 畜産関係事業担当者会議
- 14日 庄原みるくの会花見会
- 14日 全国酪農協会役員会・ネットワーク委員会
- 17日 北広島町酪農団体連絡協議会総会
- 17日 山陽乳業(株)経営検討会
- 17日 ヘルパー調整会議
- 18日 出店者連絡会フオローアップ委員会
- 18日 あきたかた酪農振興会総会
- 19日 乳代精算システムあり方検討会
- 19日 役員推薦会議事前説明会
- 20日 西日本酪農青年女性会議酪農発表大会(二十一日迄)
- 20日 生乳流通合理化の推進等に係る説明会
- 21日 広島県酪農協政協議会他
- 21日 小用酪農組合総会
- 24日 三次市地域おこし協力隊選考会
- 24日 経済産業省予算・補助金説明会
- 25日 北部畜産事務所推進協議会及び防疫会議
- 25日 東部畜産行政推進及び危機管理対策会議
- 26日 西部DMS入力会
- 26日 庄原地域酪農振興会総会
- 26日 西部地域補欠役員推薦会議
- 28日 北広島町畜産部会
- 28日 東部管内酪農青年部総会

## 編集後記

酪農家の皆様、今春のイタリアンライグラス等の牧草の生育状況は如何でしょうか。

五月初旬から中旬に亘っての一番草収穫作業は、比較的天候にも恵まれたものの、その草丈はやや短めとの声も届いております。

良い牧草が出来たとしても、雨あたりになれば嗜好性と栄養価もダウンしてしまうことから、収穫時には天候予報と睨めっこして作業にあたられているものと存じます。

繁忙期だからこそ落ち着いて、収穫作業に従事され怪我や事故等に遭われないうちにお気をつけ下さい。

広酪では、六月十二日からの四日間には、毎年恒例の地区懇談会を開催することとしております。万障お繰り合わせのうえ、多数ご参加下さることを願っております。

広酪はもとより、全国的にも共通の課題は、生乳生産基盤の脆弱化に歯止めがきかないことがあります。

北海道初妊牛市場の平均価格は、九十二万五千円(平成二十九年四月相場)となっておりますが、丁度二年前の平成二十七年四月の五十八万六千円であり、実に約一・六倍の価格上昇となっております。

## ■市町別生乳受託量の進捗状況(4月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	29年度累計	前年比(累計)
庄原市	903.6	22.5%	99.5%	903.6	99.5%
三次市	721.5	18.0%	97.4%	721.5	97.4%
世羅町	584.0	14.5%	106.3%	584.0	106.3%
北広島町	479.7	11.9%	107.2%	479.7	107.2%
安芸高田市	405.9	10.1%	100.3%	405.9	100.3%
東広島市	317.5	7.9%	91.9%	317.5	91.9%
府中市	214.5	5.3%	98.6%	214.5	98.6%
福山市	141.5	3.5%	101.9%	141.5	101.9%
三原市	83.0	2.1%	79.0%	83.0	79.0%
広島市	80.2	2.0%	92.5%	80.2	92.5%
呉市	51.6	1.3%	90.3%	51.6	90.3%
神石高原町	35.6	0.9%	46.9%	35.6	46.9%
合計	4,018.5	100.0%	98.4%	4,018.5	98.4%

## ■プール乳価(4月分)

プール乳価	109.642円
前月分プール乳価	109.811円
前月対比	99.85%

## ■生乳生産量など前年同期比較(4月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	60戸	46.2%	287,869.4
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	70戸	53.8%	-290,673.9
合計	130戸	100.0%	-2,804.5

注)この比較は、平成29年4月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。  
(廃業組合員は含まない)

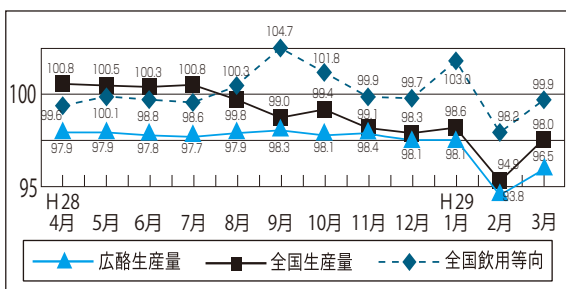
## ■生乳受託実績(4月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	39	12	41	38	130
生乳出荷量(ト)	1,452.2	369.2	965.7	1,231.5	4,018.5
前年同月対比(%)	97.8%	91.7%	102.2%	98.4%	98.4%
前月対比(%)	100.3%	96.1%	105.2%	98.3%	100.4%
生乳出荷累計(ト)	1,452.2	369.2	965.7	1,231.5	4,018.5
広酪構成比(%)	36.1%	9.2%	24.0%	30.6%	100.0%

## ■市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(3月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(ト)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	46,469	902	29.3%	51.5
2	三次市	34,182	720	21.5%	47.5
3	安芸高田市	20,422	405	12.9%	50.3
4	北広島町	14,836	436	9.3%	34.0
5	府中市	14,189	216	8.9%	65.6
6	福山市	6,891	145	4.3%	47.5
7	世羅町	6,593	596	4.2%	11.1
8	東広島市	6,530	330	4.1%	19.7
9	三原市	4,760	80	3.0%	59.0
10	広島市	1,807	75	1.1%	23.9
11	神石高原町	1,736	39	1.1%	44.1
12	呉市	331	53	0.2%	6.2
	合計	158,752	4,002	100.0%	38.4

## ■生乳需給の前年比推移(3月) (単位:%)



います。

北海道の乳用初妊牛相場は、その品薄状況から値下げに転ずる状況には無く、乳用雌牛の確保の為には真剣に後継牛確保に向けた諸対策が必要になるのではないのでしょうか。

酪農経営は、消費者による牛乳・乳製品等の消費によって支えられていることは、紛れもない事実であります。

国は、酪農制度改革の方向において、生乳流通におけるバランスある需給調整は重要として示しております。

広酪では、生乳出荷組合員を対象に年四回の生乳基盤調査を行い、搾乳牛頭数等の把握にあつております。

二月一日の調査では、組合員戸別の翌年度年間乳量を申告数量として報告頂いております。

平成二十九年度は、四万七千五百三十六トンとなりました。この数量を達するよう取り組むとともに、将来の生乳生産基盤を担う後継乳用雌牛の自家保留に全力を傾注されるようお願いいたします。

このための支援として、雌判別精液の活用はもとより県内預託育成施設での管理対応を急ぐべきでは無いでしょうか。

(A・N)